



3月27日 甲賀市準倫理法人会開設!!

～全県協力のもと当日までの普及実践～



甲賀市準倫理法人会 会長 田中 憲司

甲賀市準倫理法人会会長を拝命いたしました株式会社あきない応援団の田中憲司と申します。

この度、滋賀県内外の倫理法人会の皆様の多大なるご支援により、滋賀県で6番目の単会を3月27日(火)に開設させていただく運びとなりました。

甲賀市は人口約10万人弱、湖南市と周辺地域を合わせると約15万人強の地域です。この甲賀地域に単会が立ち上がることで、また、その立ち上げに携わることが出来ることを大変嬉しく思います。

昨年の7月に入会させていただいて1年も満たない私ですが、この1月には富士研に参加させていただき、倫理での気づきや実践により少しは成長させていただいているように感じています。これからは、甲賀の単会のみならず、MSや経営者の集い、またさまざまな研修等を通じて、さらに多くの学びや気づきを得、多くの実践に取り組んでいきたいと考えています。

入会間もない私が、新単会の会長をさせていただくことは、たいへん恐れ多いことですが、役に徹し志を

持って役員のみなさんと一丸となりこの甲賀の単会を盛り上げていきたいと思っております。今後とも倫理活動へのご理解と、甲賀市準倫理法人会への更なるご支援の程、何卒宜しくお願い申し上げます。

最後になりますが、今日に至るまで開設に多大なご尽力をいただいた多くのみなさまに深く感謝いたします。



びわこ湖東倫理法人会 倫理経営講演会

平成二十四年度 びわこ湖東倫理法人会

講演『易不易』

1月25日 水 開催

講師 法人局普及事業部 次長 森本 宏氏

経歴
 ■1972年 滋賀県立九所市に生まれる
 ■1991年4月 旧国府、倫理経営塾に入塾
 ■4年間の教職経験を経て、志望の職に就く
 ■2002年4月 法人局・倫理普及部 部長
 ■2003年9月 九所市・倫理普及部 部長
 ■2004年4月 九所市・倫理普及部 部長
 ■2005年4月 九所市・倫理普及部 部長
 ■2006年4月 九所市・倫理普及部 部長
 ■2007年4月 九所市・倫理普及部 部長

事業体談話報告『6Sとホスピタリティ』

講師 岡山県倉敷市倫理法人会 株式会社やまと 代表取締役 高橋 啓一氏

経歴
 ■昭和25年9月生まれ
 ■昭和47年 岡山大学 工学部 電子工学科 卒業
 ■昭和52年2月 岡山大学 工学部 電子工学科 卒業
 ■昭和53年 岡山大学 工学部 電子工学科 卒業
 ■昭和54年 岡山大学 工学部 電子工学科 卒業
 ■昭和55年 岡山大学 工学部 電子工学科 卒業
 ■昭和56年 岡山大学 工学部 電子工学科 卒業
 ■昭和57年 岡山大学 工学部 電子工学科 卒業
 ■昭和58年 岡山大学 工学部 電子工学科 卒業
 ■昭和59年 岡山大学 工学部 電子工学科 卒業
 ■昭和60年 岡山大学 工学部 電子工学科 卒業
 ■昭和61年 岡山大学 工学部 電子工学科 卒業
 ■昭和62年 岡山大学 工学部 電子工学科 卒業
 ■昭和63年 岡山大学 工学部 電子工学科 卒業
 ■昭和64年 岡山大学 工学部 電子工学科 卒業
 ■昭和65年 岡山大学 工学部 電子工学科 卒業
 ■昭和66年 岡山大学 工学部 電子工学科 卒業
 ■昭和67年 岡山大学 工学部 電子工学科 卒業
 ■昭和68年 岡山大学 工学部 電子工学科 卒業
 ■昭和69年 岡山大学 工学部 電子工学科 卒業
 ■昭和70年 岡山大学 工学部 電子工学科 卒業
 ■昭和71年 岡山大学 工学部 電子工学科 卒業
 ■昭和72年 岡山大学 工学部 電子工学科 卒業
 ■昭和73年 岡山大学 工学部 電子工学科 卒業
 ■昭和74年 岡山大学 工学部 電子工学科 卒業
 ■昭和75年 岡山大学 工学部 電子工学科 卒業
 ■昭和76年 岡山大学 工学部 電子工学科 卒業
 ■昭和77年 岡山大学 工学部 電子工学科 卒業
 ■昭和78年 岡山大学 工学部 電子工学科 卒業
 ■昭和79年 岡山大学 工学部 電子工学科 卒業
 ■昭和80年 岡山大学 工学部 電子工学科 卒業
 ■昭和81年 岡山大学 工学部 電子工学科 卒業
 ■昭和82年 岡山大学 工学部 電子工学科 卒業
 ■昭和83年 岡山大学 工学部 電子工学科 卒業
 ■昭和84年 岡山大学 工学部 電子工学科 卒業
 ■昭和85年 岡山大学 工学部 電子工学科 卒業
 ■昭和86年 岡山大学 工学部 電子工学科 卒業
 ■昭和87年 岡山大学 工学部 電子工学科 卒業
 ■昭和88年 岡山大学 工学部 電子工学科 卒業
 ■昭和89年 岡山大学 工学部 電子工学科 卒業
 ■昭和90年 岡山大学 工学部 電子工学科 卒業
 ■昭和91年 岡山大学 工学部 電子工学科 卒業
 ■昭和92年 岡山大学 工学部 電子工学科 卒業
 ■昭和93年 岡山大学 工学部 電子工学科 卒業
 ■昭和94年 岡山大学 工学部 電子工学科 卒業
 ■昭和95年 岡山大学 工学部 電子工学科 卒業
 ■昭和96年 岡山大学 工学部 電子工学科 卒業
 ■昭和97年 岡山大学 工学部 電子工学科 卒業
 ■昭和98年 岡山大学 工学部 電子工学科 卒業
 ■昭和99年 岡山大学 工学部 電子工学科 卒業
 ■平成元年 岡山大学 工学部 電子工学科 卒業
 ■平成2年 岡山大学 工学部 電子工学科 卒業
 ■平成3年 岡山大学 工学部 電子工学科 卒業
 ■平成4年 岡山大学 工学部 電子工学科 卒業
 ■平成5年 岡山大学 工学部 電子工学科 卒業
 ■平成6年 岡山大学 工学部 電子工学科 卒業
 ■平成7年 岡山大学 工学部 電子工学科 卒業
 ■平成8年 岡山大学 工学部 電子工学科 卒業
 ■平成9年 岡山大学 工学部 電子工学科 卒業
 ■平成10年 岡山大学 工学部 電子工学科 卒業
 ■平成11年 岡山大学 工学部 電子工学科 卒業
 ■平成12年 岡山大学 工学部 電子工学科 卒業
 ■平成13年 岡山大学 工学部 電子工学科 卒業
 ■平成14年 岡山大学 工学部 電子工学科 卒業
 ■平成15年 岡山大学 工学部 電子工学科 卒業
 ■平成16年 岡山大学 工学部 電子工学科 卒業
 ■平成17年 岡山大学 工学部 電子工学科 卒業
 ■平成18年 岡山大学 工学部 電子工学科 卒業
 ■平成19年 岡山大学 工学部 電子工学科 卒業
 ■平成20年 岡山大学 工学部 電子工学科 卒業
 ■平成21年 岡山大学 工学部 電子工学科 卒業
 ■平成22年 岡山大学 工学部 電子工学科 卒業
 ■平成23年 岡山大学 工学部 電子工学科 卒業
 ■平成24年 岡山大学 工学部 電子工学科 卒業
 ■平成25年 岡山大学 工学部 電子工学科 卒業
 ■平成26年 岡山大学 工学部 電子工学科 卒業
 ■平成27年 岡山大学 工学部 電子工学科 卒業
 ■平成28年 岡山大学 工学部 電子工学科 卒業
 ■平成29年 岡山大学 工学部 電子工学科 卒業
 ■平成30年 岡山大学 工学部 電子工学科 卒業
 ■令和元年 岡山大学 工学部 電子工学科 卒業
 ■令和2年 岡山大学 工学部 電子工学科 卒業
 ■令和3年 岡山大学 工学部 電子工学科 卒業
 ■令和4年 岡山大学 工学部 電子工学科 卒業
 ■令和5年 岡山大学 工学部 電子工学科 卒業
 ■令和6年 岡山大学 工学部 電子工学科 卒業
 ■令和7年 岡山大学 工学部 電子工学科 卒業
 ■令和8年 岡山大学 工学部 電子工学科 卒業
 ■令和9年 岡山大学 工学部 電子工学科 卒業
 ■令和10年 岡山大学 工学部 電子工学科 卒業
 ■令和11年 岡山大学 工学部 電子工学科 卒業
 ■令和12年 岡山大学 工学部 電子工学科 卒業
 ■令和13年 岡山大学 工学部 電子工学科 卒業
 ■令和14年 岡山大学 工学部 電子工学科 卒業
 ■令和15年 岡山大学 工学部 電子工学科 卒業
 ■令和16年 岡山大学 工学部 電子工学科 卒業
 ■令和17年 岡山大学 工学部 電子工学科 卒業
 ■令和18年 岡山大学 工学部 電子工学科 卒業
 ■令和19年 岡山大学 工学部 電子工学科 卒業
 ■令和20年 岡山大学 工学部 電子工学科 卒業
 ■令和21年 岡山大学 工学部 電子工学科 卒業
 ■令和22年 岡山大学 工学部 電子工学科 卒業
 ■令和23年 岡山大学 工学部 電子工学科 卒業
 ■令和24年 岡山大学 工学部 電子工学科 卒業
 ■令和25年 岡山大学 工学部 電子工学科 卒業
 ■令和26年 岡山大学 工学部 電子工学科 卒業
 ■令和27年 岡山大学 工学部 電子工学科 卒業
 ■令和28年 岡山大学 工学部 電子工学科 卒業
 ■令和29年 岡山大学 工学部 電子工学科 卒業
 ■令和30年 岡山大学 工学部 電子工学科 卒業
 ■令和31年 岡山大学 工学部 電子工学科 卒業
 ■令和32年 岡山大学 工学部 電子工学科 卒業
 ■令和33年 岡山大学 工学部 電子工学科 卒業
 ■令和34年 岡山大学 工学部 電子工学科 卒業
 ■令和35年 岡山大学 工学部 電子工学科 卒業
 ■令和36年 岡山大学 工学部 電子工学科 卒業
 ■令和37年 岡山大学 工学部 電子工学科 卒業
 ■令和38年 岡山大学 工学部 電子工学科 卒業
 ■令和39年 岡山大学 工学部 電子工学科 卒業
 ■令和40年 岡山大学 工学部 電子工学科 卒業
 ■令和41年 岡山大学 工学部 電子工学科 卒業
 ■令和42年 岡山大学 工学部 電子工学科 卒業
 ■令和43年 岡山大学 工学部 電子工学科 卒業
 ■令和44年 岡山大学 工学部 電子工学科 卒業
 ■令和45年 岡山大学 工学部 電子工学科 卒業
 ■令和46年 岡山大学 工学部 電子工学科 卒業
 ■令和47年 岡山大学 工学部 電子工学科 卒業
 ■令和48年 岡山大学 工学部 電子工学科 卒業
 ■令和49年 岡山大学 工学部 電子工学科 卒業
 ■令和50年 岡山大学 工学部 電子工学科 卒業
 ■令和51年 岡山大学 工学部 電子工学科 卒業
 ■令和52年 岡山大学 工学部 電子工学科 卒業
 ■令和53年 岡山大学 工学部 電子工学科 卒業
 ■令和54年 岡山大学 工学部 電子工学科 卒業
 ■令和55年 岡山大学 工学部 電子工学科 卒業
 ■令和56年 岡山大学 工学部 電子工学科 卒業
 ■令和57年 岡山大学 工学部 電子工学科 卒業
 ■令和58年 岡山大学 工学部 電子工学科 卒業
 ■令和59年 岡山大学 工学部 電子工学科 卒業
 ■令和60年 岡山大学 工学部 電子工学科 卒業
 ■令和61年 岡山大学 工学部 電子工学科 卒業
 ■令和62年 岡山大学 工学部 電子工学科 卒業
 ■令和63年 岡山大学 工学部 電子工学科 卒業
 ■令和64年 岡山大学 工学部 電子工学科 卒業
 ■令和65年 岡山大学 工学部 電子工学科 卒業
 ■令和66年 岡山大学 工学部 電子工学科 卒業
 ■令和67年 岡山大学 工学部 電子工学科 卒業
 ■令和68年 岡山大学 工学部 電子工学科 卒業
 ■令和69年 岡山大学 工学部 電子工学科 卒業
 ■令和70年 岡山大学 工学部 電子工学科 卒業
 ■令和71年 岡山大学 工学部 電子工学科 卒業
 ■令和72年 岡山大学 工学部 電子工学科 卒業
 ■令和73年 岡山大学 工学部 電子工学科 卒業
 ■令和74年 岡山大学 工学部 電子工学科 卒業
 ■令和75年 岡山大学 工学部 電子工学科 卒業
 ■令和76年 岡山大学 工学部 電子工学科 卒業
 ■令和77年 岡山大学 工学部 電子工学科 卒業
 ■令和78年 岡山大学 工学部 電子工学科 卒業
 ■令和79年 岡山大学 工学部 電子工学科 卒業
 ■令和80年 岡山大学 工学部 電子工学科 卒業
 ■令和81年 岡山大学 工学部 電子工学科 卒業
 ■令和82年 岡山大学 工学部 電子工学科 卒業
 ■令和83年 岡山大学 工学部 電子工学科 卒業
 ■令和84年 岡山大学 工学部 電子工学科 卒業
 ■令和85年 岡山大学 工学部 電子工学科 卒業
 ■令和86年 岡山大学 工学部 電子工学科 卒業
 ■令和87年 岡山大学 工学部 電子工学科 卒業
 ■令和88年 岡山大学 工学部 電子工学科 卒業
 ■令和89年 岡山大学 工学部 電子工学科 卒業
 ■令和90年 岡山大学 工学部 電子工学科 卒業
 ■令和91年 岡山大学 工学部 電子工学科 卒業
 ■令和92年 岡山大学 工学部 電子工学科 卒業
 ■令和93年 岡山大学 工学部 電子工学科 卒業
 ■令和94年 岡山大学 工学部 電子工学科 卒業
 ■令和95年 岡山大学 工学部 電子工学科 卒業
 ■令和96年 岡山大学 工学部 電子工学科 卒業
 ■令和97年 岡山大学 工学部 電子工学科 卒業
 ■令和98年 岡山大学 工学部 電子工学科 卒業
 ■令和99年 岡山大学 工学部 電子工学科 卒業
 ■令和100年 岡山大学 工学部 電子工学科 卒業

会場 八日市ロイヤルホテル TEL 0748-24-0111

時間 16:00受付 17:00~19:15

会場 八日市ロイヤルホテル

会費 前1人様2,000円

懇親会 19:30~

会費 前1人様5,000円

主催 滋賀県倫理法人会 倫理経営講演会

協賛 びわこ湖東倫理法人会

お問い合わせ 滋賀県倫理法人会 TEL 077-532-1404 FAX 077-532-4869

「憂国の師を、思い起こして」

東日本大震災からの復興と、世界不況からの脱却。現下の国難に直面する日本人の道標となるのが、戦後の混乱期に「万人幸福の葉」を著した丸山敏雄の「純粋倫理」に他なりません。

お話を賜ったお二人は、純粋倫理の根幹を成す箴言、「苦難福門」と「易不易」という教えを土台に、高橋啓一様は「『苦難福門』が営業力の原点である」と語り、森本宏様は「変えてはならないもの（不易）、それが経営理念だ」と説きました。そして、顧客満足（CS）に何より不可欠なのが、行動と言葉と笑顔で接する「おもてなしの心（ホスピタリティ）」なのだ、と強調しました。このおもてなしの心こそ、西洋には存在しない、日本固有の精神文化に根差した「東洋の知」なのです。日本的経営のあり方は、高度成長期の「戦略の時代」から「知識・価値の時代」へと変わりつつあります。国難の今、私たち経営者に求められているのは、おもてなしの心の大切さや、世界に誇るべき概念知＝純粋倫理を国内外に示し、広めていくことなのです。

「にっこり笑って、エイと一声——かけ声勇ましく、かたい扉をおし開こう」。そう、扉の奥には真の「日本創生」が存在するのだ、講演会を機に、確かに、そして強く、思い知りました。

びわこ湖東倫理法人会 専任幹事 古谷幸保



大津倫理法人会 倫理経営講演会



テーマ「倫理実践の中で」

講師は千葉県倫理法人会の田邊仁普及拡大委員長。モノを大事にする（この世に我がモノは何もない）。忘れがちな対象に感謝する（自分自信、臓器にも感謝）。命の素である水に感謝する（水道蛇口に感謝）。「夫婦愛和」という言葉は際限なく使われていました。なぜ倫理実践するのか？「過去と他人は変えることはできないが、自分自身を変えることができるから」。自分を変えるには倫理実践が近道と学びました。

テーマ「朝に活路あり」

講師は倫理研究所の松岡賢人アドバイザー。幸せになれない大きな理由。それは心の中の「わがまま」と「欲」。どうすれば幸せになれるのか？朝サッと起きる。目が覚めたら起きる。ぐずぐずせずに起きる。やはり自分を変えるための「即行」である。「朝起きの即行」が自分を変える、そして幸せになる方法と学びました。倫理経営講演会を拝聴させていただき、「自分を変える最良の方法」を学ぶことができました。ありがとうございました。



滋賀県倫理法人会 事務長 城市隆介

モーニングセミナー研修

日時：平成24年 1月14日（土）AM 10:30～12:00

場所：彦根キャッスルホテル 2階「桜の間」

講師：社団法人倫理研究所 近畿方面副方面長 与縄 智久



平成24年1月14日（土）午前10時から12時まで、彦根キャッスルホテル2階「桜の間」において、モーニングセミナー研修を開催させて頂きました。

講師の与縄智久近畿副方面長より会長グループ、県役員グループなど3グループに分かれてテーマ別にモーニングセミナーを活性化させるために活発に改善点の話し合いを行いました。そのなかで会長あいさつは特に重要との視点で、現在会長職の研修参加者を中心に実際に会長あいさつを考えて発表して頂き、新庄昇県会長、日下英治幹事長、草川公雄朝礼委員長から、それぞれ評価コメントを頂く形式で、完成度が高いと絶賛されたのは上田健一郎彦根市倫理法人会会長でした。

地域の話題として奈良の「せんとかん」より彦根の「ひこにゃん」への年賀状の数が圧倒的に多いのはなぜかと参加者に問いかけ、最終的に倫理の普及と同じで「ひこにゃん」は「汗かいて」ちゃんと返事を出している。倫理の良さを知ってもらうのにも、皆で汗をかきましょう！との結びに拍手が沸きました。「さりげない倫理への動機づけ」で研修参加者のモチベーションも上がり、あっという間の2時間でした。

滋賀県倫理法人会 MS委員長 金谷幸男

朝礼インストラクター養成講座

日時：平成24年 2月18日（土）AM 9:30～12:00

場所：パナソニック電工レークアイランド

講師：社団法人倫理研究所 近畿方面方面長 那須 隆



当日、新開浜は大変な雪となりましたが、草川、西村両役員その他、田中啓二、大畠美香（今回初の女性受講者）、松崎和弘、日下幹事長、景山湖東会長、滋賀建機総務部の森田さんの参加を得まして、那須方面長の講師で緊張感のなかにも和やかな雰囲気の中で講習できました。

今回は6月に計画している朝礼コンテストに向けて、朝礼指導をして頂ける方の養成に主眼を置き、実践的な講習内容となりました。皆さんそれぞれ毎週の役員朝礼で鍛えておられしっかりと身に付けて頂いたとおもいます。

例年2回行っておりましたが2回連続ではどうしても2回目が欠席となるということで出席率が悪くなり、インストラクターの資格取得が目的となってしまう、その後の活動も十分行われないのが現状でした。

今回は6月の朝礼コンテストの参加企業の指導をして頂くことに主眼を置き、1回のみの実践的な講習でした。

今後各単会の参加企業のレベルアップに貢献して頂くよう期待します。

滋賀県倫理法人会 朝礼委員長 草川公雄

富士高原研修所 経営者倫理セミナーレポート

実施日時
場 所

平成24年1月21日(土)～23日(月)
社団法人倫理研究所 富士高原研修所

参加地域・参加人数 東京都47名・千葉県38名・長野県13名・我が滋賀県11名・香川県7名群馬県3名 計119名

研修内容

大きい括弧で「愛和のみそぎ」に参加する【チャレンジコース】と、参加しない【熟練コース】に分かれ・・・参加各県倫理法人会の受講生ほぼ初対面メンバー5～8名のチームを構成し、研修期間中に成果を上げて行く為の団結力・チームワークを体得します。色々な場面で自分自身はどう考えどう動き、何をどう伝え、どこでみんなと力を合わせるかと云う、企画力・提案力・構築力を磨いて参ります。各セッションに於いて日常の基本動作を繰り返し繰り返し実践して参ります。その基本動作『セブンアクト』は、「まあよう出来たものや～」と、感心しきりでした。本当に身体に染み付いた身体のサビ・アカ・クセを取り除くのではなく昇華させてくれるまさしく心の研磨剤です。初日はオープンマインドをテーマとし、事故と向き合う！各、健康法で身体の内なる声を聴く、生きる事の基本と苦難観を学びました。

2日目午前中は各チームの実践力の向上と、自己の課題に向き合う・・・そして鮮烈感動、午後の自然観照！大自然、雪の林間古道を素足で進み象徴庭園に出た折には富士の御山が我々に微笑みかけてくれる様にご尊顔を見せてくれました・・・ありがたいことです。もったいないことです。清座場から望む富士山と象徴の木。そこにしかない氣に満ち溢れています。まさに大宇宙、自然に懷かれるとはこの事でしょう・・・自然の中での正座、ちっぽけでもあり大きくもある自分自身と向き合う至福の時間となりました。自然観照で生かされている

事に気づかされ大切な人々への感謝を具現化する作業に入りました。

そして最終日のテーマは灼熱希望。

万人幸福の栞を深く読む真読の道！

山口先生の鬼氣迫る講義に感動圧倒されつつ締めにはいりました・・・

『今！ここ！！』集中力を養うと云う意味でもいい体験が出来ました。

本当に「感謝」「感謝」「感謝」の二泊三日でした。

ありがとうございました。

感謝合掌。

滋賀県倫理法人会 研修副委員長 田中啓示



参加者感想レポート

1月21日～23日の3日間、富士教育センターにて経営者倫理セミナーを受講。通称「富士研」の愛和のみそぎ(滝打ち)を体験。初日は「水と対立しない」ことから始める。「私の全てをよろしくお受けとめください。対立しない、対立しない・・・」と入水。その瞬間、私の心の中で「対立している人達」が現れた。非常に衝撃的であり、改めて自分自身の心の中を知る。2日目の愛和のみそぎは、感謝すべき人を心に浮かべて入水。体に水があたる音だけがどこかで聴こえる感覚。それは水に包まれているような感覚。「対立しない」とはこういうことなのか・・・。幸せな感覚に包まれたのは間違い無い。

～セミナーを終えて～

対立している人達には謝りたい。そして感謝したい。感謝できる心を持ち続けたい。「私が相手に受け入れていただく」、「相手が先」。幸せになれる生き方を学ばせていただきました。

滋賀県倫理法人会 事務長 城市隆介





雪の一日研修開催！ 目的は「目標達成力強化」



パナソニック電器アイランドにて役員一日研修が開催されました。研修の目的は「目標達成力」の強化。

1日目は大阪府天王寺区倫理法人会会長の藤山守重氏（日本能力開発研究所・七田チャイルドアカデミー代表）の講話でスタート。講演テーマは「人生が劇的に変わる、感動人生革命」。脳のメカニズムや感動の方程式。原因と結果の法則。人生を変えるためのコツがすっと理解できるお話でした。女性会員を大切にするMSの雰囲気作りの結果、天王寺区倫理法人会は全国でも屈指のMSとなっています。その後、県普及拡大委員長の志水麗華氏による「目標達成力をつけるための実習」が行われました。懇親会ではその日の学びを振り返りつつ、松下いずみ氏（大阪府倫理法人会広報委員長）にもご参加いただき、楽しいひとときとなりました。

2日目は特別モーニングセミナー。大阪府中央区倫理法人会副専任幹事の朝日里佳氏（オフィスライジング代表）による講話「大苦難からやって来た福門」。まさに大苦難の人生。苦難を成功に変えた朝日さんの大変な人生の赤裸々な話に一同感動。ストレートにレールに乗れば必ず帰ってくるのが倫理と語られました。窓の外に広がるキラキラ光る一面の雪を見ながら楽しい食事会で研修を終えました。特別MSは23社23名の出席でした。

滋賀県倫理法人会 広報委員長 松崎和弘



びわこ湖南倫理法人会 百日実践報告会開催！

「倫理は実践」

気付いたことはすぐ実践ということで、この「100日実践」もすぐに行動に移しました。昨年の10月20日にびわこ湖南の会員に案内をして、それぞれがどのような取り組みをするかを宣言していただき、皆で励みあいながらとりあえず100日間を実践していこうという主旨でスタートしました。

さて、3月7日の役員会後に100日実践報告会を開催しました。現在取り組み中の実践もあれば第二第三の取組みをされている方など、それぞれが刺激を受け、更なる実践への励みとなりました。是非、単会で取組まれることをお奨めいたします。

びわこ湖南倫理法人会 専任幹事 中野光一

甲賀市準倫理法人会祝賀会！ 3月27日 水口センチュリーホテル



厳粛な開設式典の後、会場を変えて祝賀会が開かれました。

新庄昇滋賀県会長の乾杯の音頭で始まりました。新庄会長のスピーチの途中で、感極まって言葉が止まり、涙を流される場面もありました。田中憲司新会長と開設に至るまでの連日の普及活動のご尽力をうかがえるシーンでした。

大阪、京都、兵庫の他府県会長・役員の方々にもご出席を賜り、たくさんのお祝いの言葉やお品もいただきました。また、滋賀県内の役員さんや甲賀市の新入会員さんにもスピーチをいただき、笑いも多く、楽しく盛り上がった祝賀会でした。

滋賀県倫理法人会 広報委員 久保勝



新入会員紹介

	所属法人会	甲賀市準倫理法人会	
	氏名	加藤 善久	
	会社名	(株) 加陶	
	事業内容	信楽焼製品の製造・販売	

	所属法人会	甲賀市準倫理法人会	
	氏名	辻 保宏	
	会社名	(株) 辻牧場	
	事業内容	明治の乳類販売	

	所属法人会	甲賀市準倫理法人会	
	氏名	笹谷 武司	
	会社名	(株) ヒロセリサイクルセンター	
	事業内容	一般廃棄物中間処理	

	所属法人会	びわこ湖東倫理法人会	
	氏名	山崎 宏	
	会社名	元氣堂	
	事業内容	整体、足裏マッサージ	

所属法人会	甲賀市準倫理法人会	会社名	(有) 山崎ガス
氏名	山崎 隆司	事業内容	

所属法人会	甲賀市準倫理法人会	会社名	(有) ミヤマ
氏名	山下 純三	事業内容	一般クリーニング

所属法人会	甲賀市準倫理法人会	会社名	(株) オーテック工業
氏名	奥村 裕二	事業内容	産業機械装置製造

所属法人会	甲賀市準倫理法人会	会社名	(株) 滋賀レンタルリース
氏名	小島 久義	事業内容	レンタルリース業

所属法人会	甲賀市準倫理法人会	会社名	(株) 三峰環境サービス
氏名	三峰 張巨	事業内容	廃棄物処理運搬業

所属法人会	甲賀市準倫理法人会	会社名	美松産業 (株)
氏名	平松 隆一	事業内容	不動産賃貸

所属法人会	甲賀市準倫理法人会	会社名	炭火焼肉曼蛇
氏名	北村 智之	事業内容	焼肉店経営

所属法人会	甲賀市準倫理法人会	会社名	(株) 星光舎
氏名	小崎 章年	事業内容	衣類のクリーニング業

所属法人会	甲賀市準倫理法人会	会社名	改進黨建設
氏名	南 亮	事業内容	建設業

所属法人会	甲賀市準倫理法人会	会社名	島本微生物工業 (株)
氏名	島本 光久	事業内容	健康食品、農畜産微生物資材製造

所属法人会	甲賀市準倫理法人会	会社名	Serun
氏名	岡西 りま	事業内容	カフェ

所属法人会	甲賀市準倫理法人会	会社名	富山歯科医院
氏名	富山 佳寿人	事業内容	一般歯科、小児歯科、インプラント

所属法人会	甲賀市準倫理法人会	会社名	きっぱり (株)
氏名	村上 竜太	事業内容	雑貨品の製造及び販売

所属法人会	甲賀市準倫理法人会	会社名	ジブラルタ生命保険 (株)
氏名	上 嘉 登	事業内容	生命保険業

所属法人会	甲賀市準倫理法人会	会社名	関西硝子 (株)
氏名	金田 周也	事業内容	ガラス・アルミサッシ販売

所属法人会	甲賀市準倫理法人会	会社名	フクテツ工業 (株)
氏名	嶋岡 広一	事業内容	製造業

所属法人会	甲賀市準倫理法人会	会社名	(株) ホームズ
氏名	辻 友二郎	事業内容	リフォーム・エクステリア業

所属法人会	甲賀市準倫理法人会	会社名	
氏名	中山 雅行	事業内容	足うらマッサージ

所属法人会	甲賀市準倫理法人会	会社名	(有) 徳田石材
氏名	徳田 美喜男	事業内容	墓地・墓石

所属法人会	甲賀市準倫理法人会	会社名	(株) 甲賀ゴルフセンター
氏名	桃原 克行	事業内容	

所属法人会	甲賀市準倫理法人会	会社名	アクセルコンサルティング (株)
氏名	岡原 慶高	事業内容	経営コンサルタント

所属法人会	甲賀市準倫理法人会	会社名	甲賀タイヤ商会
氏名	伊室 輝一	事業内容	タイヤ販売

所属法人会	甲賀市準倫理法人会	会社名	(株) 滋賀銀行
氏名	富田 幸児	事業内容	銀行

所属法人会	甲賀市準倫理法人会	会社名	トワエンタープライズ (有)
氏名	東 憲一	事業内容	電子部品製造加工

所属法人会	甲賀市準倫理法人会	会社名	(株) 小崎木材建設
氏名	小崎 美穂子	事業内容	建築一般

所属法人会	甲賀市準倫理法人会	会社名	甲賀健康医療専門学校
氏名	角野 義春	事業内容	医療専門学校

所属法人会	甲賀市準倫理法人会	会社名	(有) 川久
氏名	野崎 久一	事業内容	生花小売

所属法人会	甲賀市準倫理法人会	会社名	Mars
氏名	山本 正文	事業内容	建設材料販売、運搬

所属法人会	甲賀市準倫理法人会	会社名	水口園芸
氏名	大原 智和	事業内容	園芸用商品小売販売

所属法人会	甲賀市準倫理法人会	会社名	柴田酒店
氏名	柴田 智仁	事業内容	小売業、飲食、酒類販売

所属法人会	甲賀市準倫理法人会	会社名	(株) 甲賀自動車工業所
氏名	福井 正弘	事業内容	自動車整備・販売

所属法人会	びわこ湖南倫理法人会	会社名	ミキプルーン代理店
氏名	泉 優美子	事業内容	健康補助食品販売

	所属 法人会	びわこ湖南倫理法人会		所属 法人会	びわこ湖南倫理法人会
氏 名	鈴木 正樹		氏 名	高田 大輔	
会社名	(株) アットスクール		会社名	リットーハーネス	
事業 内容	教育・学習支援業		事業 内容	ワイヤーハーネス製造	
	所属 法人会	びわこ湖南倫理法人会		所属 法人会	びわこ湖南倫理法人会
氏 名	金谷 みよこ		氏 名	森本 賢	
会社名	ミキプルーン代理店		会社名	(有) キットカット	
事業 内容	健康補助食品販売		事業 内容	小売・アップル製品専門店	
	所属 法人会	びわこ湖南倫理法人会		所属 法人会	びわこ湖南倫理法人会
氏 名	西田 裕子		氏 名	黒川 卓雄	
会社名	ジュエリーアート マイジョーヌ		会社名	オムロン (株)	
事業 内容	ジュエリー販売業		事業 内容	製造業	
所属 法人会	びわこ湖南倫理法人会	会社名	心温家	所属 法人会	びわこ湖南倫理法人会
氏 名	若林 祐平	事業 内容	飲食業	氏 名	奥村 弘崇
				事業 内容	舗装及び土木工事業
所属 法人会	びわこ湖南倫理法人会	会社名	大ープレス工業 (株)	所属 法人会	びわこ湖南倫理法人会
氏 名	大川 広江	事業 内容	金属加工業	氏 名	北野 裕子
				事業 内容	フィットネスクラブ運営、広告企画デザイン
所属 法人会	びわこ湖南倫理法人会	会社名	(株) インシュアランスブレン	所属 法人会	びわこ湖南倫理法人会
氏 名	菅生 正	事業 内容	生命保険・損害保険代理店	氏 名	岩本 幸子
				事業 内容	飲食店
所属 法人会	びわこ湖南倫理法人会	会社名	エールコーポレーション (株)	所属 法人会	びわこ湖南倫理法人会
氏 名	白井 幸則	事業 内容	不動産、建設業	氏 名	小松 敏夫
				事業 内容	小松林業 (株)

(順不同・敬称略)

新企画会員コラム

古希を迎えて

滋賀県倫理法人会 相談役 河村 益孝

お蔭様で昨年の8月、無事古希を迎えることができた。男性79歳、女性86歳が現日本の平均寿命で、世界で1、2位に値し長年続いているとすれば、まだ余命は10年ほど残っており、現に同級生の7.8割は命があり、元気であると思える。

そもそも人生50年と言われた、今から60年ほど前(昭和20～25年頃)までは、粗末な食料で、終日過酷な労働を強いて身体を酷使したことにより命を縮める結果になったとも言える。

特に日本の主食とされる米作りは機械化の進んだ今とは異なり、牛馬を使つての耕作はあるもののほとんどが体を使つての作業に終始し、早春の苗作りから秋の収穫まで休むことなく日々営々として取り組んだ。梅雨時の田植えは泥の中に足を取られながら、1本ずつ腰をかがめての終日の作業は苦難の中でも極め付きであり、村人総出で皆が助け合ったと聞く。

農業として営むからは1町歩前後が必要であり、苗作りから植え付け完了までの1、2ヶ月は人手を頼りに、遠いその昔から営々と田畑を守ってきたのである。先に述べたように大きな農家ほど人手が要る必要上、大家族でそれを支えたのである。その労苦の厳しさに、娘が出来れば農家には嫁にやるな。男は嫁を娶るなら農家からもらえ・・・と当時の世相が物語った。

戦後、生産性を高める施策が種々施され、農業をはじめとする分野も機械化が進み、体を酷使する過酷な労働環境が激減し、安全且つ早く仕事が捗るに至った。機械化が進めば進むほど出費も高くつき、却って生活に窮する事態も多発し、社会問題ともなった。こうした問題も抱えながら、一進一退を繰り返しつつ、日本の高度経済成長が始まったのである。

戦後、日本のインフラが欧米に後れを取っていることで、日本中で道路、橋、トンネル、港湾の建設も盛んになった。が、機械化が遅れを取っていた分、当初は肉体を使つての厳しい労働環境で人命にかかわるような事故も多かった。やがて人命尊重の精神の高揚とともに機械化も進み、安全、安心、迅速に工事が進められるようになり、事故も大幅に減った。

意外に、日頃の健康管理、食品衛生に関することも研究が進み、飛躍的な改善がなされるとともに、医療機器や医薬品の進歩発展と併せて延命、長寿化が進展した。

人生50年のとき、70歳が古希というなら納得でしょう。男女の平均寿命が80歳を超えた今なら「古希」は90歳、100歳とするべきであろう。ただし元気が一番！であることは言う間でもない。(了)

今回の企業訪問は、甲賀市水口町の日新製薬株式会社様にお邪魔いたしました。代表取締役の大橋淳一様は甲賀市倫理法人会発起人会の代表でもいらっしゃいます。医師の処方箋を必要としない一般用医薬品専門メーカーである日新製薬株式会社様。現在は、絵本やアニメでお馴染みのキャラクターがパッケージの小児用シロップ剤（OEM）や、年間 60 万本出荷されるという医薬品では珍しい 500mL 瓶入り栄養剤など、液剤を中心に生産されています。小児用シロップ剤では安全キャップなど他社にないアイデアが活かされています。



生活者の日々の健康づくりにダイレクトにかかわる事業に込めた経営の思いについて大橋社長様にお聞きしました。



日新製薬（株）代表取締役 大橋純一

日新製薬様は「健康・一味和合」を企業のモットーにされています。一味和合は仏教の言葉ですが、一味は「仏説は時と所に応じて多様だが本旨は同じ」の意。「薬も時に応じて形を変えますが目的は一つ。『生命あるものの輝き』です。

私たちの仕事が大勢の健やかさをお助けしている。そこに喜びがあり誇りがあるのです。」生命あるものを慈しむ心が理念に現れています。大橋社長様の心の糧は「反省は人間道の泉なり」。父（先代社長）が 1962 年に他界する直前、病床の震える手で書き残してくださった言葉で今も受け継がれています。

能登川出身の先代社長は大阪でお勤めになった後、戦後の混乱を避けて甲賀の地へ。1974 年に製薬業を始められました。地縁も血縁もない甲賀のみなさんから「仕事がないなら製薬をやってみたら」と、親身なアドバイスをいただいたおかげで当社が生まれたとのこと。最初は住まいの居間に椅子を 2 つ置いてスタート。水虫薬を母と二人で遠方まで売りに歩きました。やがて「自分が造った薬で人さまのお役に



立ちたい」と一念発起して会社を設立。懸命に企業の礎を築き、還暦を迎えた時分に 24 歳の大橋社長に会社を託し旅立たれたそうです。



それから半世紀近く、大橋社長が貫いてこられた「健康・一味和合」の道。人の健康と笑顔を支える誇り高い仕事です。社員のみなさんも非常に高い志を持っておられ従業員育成にも熱心に取り組んでおられます。そして、絶えざる新薬開発への挑戦は企業活力増強の源。「真に役立つ情報」の提供を通じて薬業を生業とするみなさまとの共存共栄を図りたいと考えておられます。本日は貴重なお時間をいただき本当にありがとうございました。

甲賀市準倫理法人会 会長 田中 憲司

- 日新製薬株式会社
- 所在地：〒528-0013 滋賀県甲賀市水口町宮の前 2-6 2
- 資本金：4,500 万円
- 代表者：代表取締役 大橋 淳一
- 事業内容：医薬品の製造および販売。医薬部外品の製造および販売。清涼飲料水の製造および販売。
- 主要取引先：株式会社池田模範堂、クラシエ製薬株式会社、サンスター株式会社
- 従業員数：88 名